

第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成25年11月13日(水) 5校時

場 所 1年教室

児 童 男2名 女4名 計6名

指導者 橋 本 典 子

- 1 単元名 おはなしをよみ、すきなところをおはなしカードにかいて しょうかいしよう
学習材 「おとうとねずみ チロ」東京書籍 1年下
動物が登場するお話15冊程度

2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として、「おはなしカードをかいてしょうかいしよう」を位置づけた。おはなしカードには、動物が登場するお話の中から好きなお話を選び、お話の題名・作者・登場人物・お話の好きなところ・好きな理由を書く。

いろいろなお話を読み、自分が好きだと思ったところを選ぶ。また選んだ理由を、登場人物の行動や会話から登場人物の気持ちを考えたり、自分の経験と結びつけて考えたりする。このことにより、好きな文章や文を選ぶためにどんなお話か意識して読んだり、多様な感じ方があることに気づいたりし、「楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むことができる」(読むこと力)を実現できるようにしている。

3 単元について

(1) 児童について

本学級の児童は、1学期に学習材「おおきなかぶ」で、場面の様子を想像しながらお話のおもしろさを楽しんで読むことを学習した。そこでは、登場人物の登場の順番や挿絵から、お話の大体をとらえたり、場面の様子や登場人物の気持ちを想像し登場人物の台詞や動きに置き換えて演じることにより、楽しんでお話を読むようにした。児童は、台詞を考え楽しく劇を行ったが、語彙が乏しいことや安易に他の児童の考えに同調してしまう児童もいて、登場人物の気持ちを想像した台詞にならないところもあった。

読書については、読み聞かせは喜んで聞くが、自力で読む場合は文字を読むことに精一杯で、お話の内容を理解したり、おもしろいところを見つけたりすることが困難な児童もいる。

そこで本単元では、好きなところを選ぶという意識を持たせ、繰り返し読ませることにより、楽しんで文や文章を選んで読む力を付けるようにしたい。

(2) 単元構成について

本単元で付けたい力は、「好きな本や文章を選びながら、楽しんで読む力」である。そこで本単元では、好きな本や文章を選びながら、楽しんで読む言語活動として、「おはなしカードをかいてしょうかいしよう」を設定した。「おはなしカード」のための要件は、題名、作者、登場人物、お話の中の好きなところ、好きなわけである。

第1次では、言語活動のモデルを提示し、言語活動の要件を確認して学習の見通しを持たせる。

第2次では、学習材「おとうとねずみ チロ」を読み、好きな文章や文を選びそのわけを考える。

2次では、単位時間の後半に並行読書をしているお話についてふれる時間を設け、3次への活用を意識させる。

第3次では、2次で学習してきたことを活用して、「おはなしカード」を書き友達と交流する。本単元の最後には、身についた力について振り返る。

本単元で使用する学習材は「おとうとねずみ チロ」(東京書籍1上)である。このお話は、兄弟の中で最も幼いチロが心配事を乗り越え、最後におばあちゃんからのプレゼントにお礼を言う姿が描かれている。物語は、おばあちゃんから手紙が届く場面、おばあちゃんに呼びかける場面、おばあちゃんが編んだチョッキが届く場面の構成になっている。物語の山場がはっきりしていることで、お話の流れが理解しやすい。また、1年生よりやや幼い末っ子のねずみの話であることから、主人公チロに共感しながら読むことができると考える。これらのことから、今回の学習に適した学習材である。

(3) 指導について

第1次では、初めに動物が登場するお話の読み聞かせを行い、感想を交流する。そこでは、感想を持つことは、そのお話が心に残り好きなお話になっていくことを伝え、学習のめあて、「おはなしをよみ、好きなお話をおはなしカードにかいてしょうかいしよう」を確認する。また、並行読書をする本を紹介し、ブックリストを渡す。ブックリストには、本の題名と好きなお話の有無を書かせる。並行読書の本は、主に動物が登場するお話で児童の実態に合わせて児童がすでに繰り返し読み好きだと思われる本も用意する。さらに、好きなお話を紹介したり感想を交流したりしながら、気持ちを表す言葉を集めたり使ったりすることも知らせる。次に、前時に読み聞かせをしたお話から、「おはなしカード」のモデルを提示し、要件を確認したあと学習計画を立てる。その後、学習材「おとうとねずみ チロ」を読み初発の感想を交流する。

第2次では、学習材「おとうとねずみ チロ」を、読みの視点を手がかりにして自分の好きなところを選ぶ学習をする。まず、題名・作者・登場人物を確認するとともに、挿絵と照らし合わせながら、お話の大体をとらえさせる。その際、このお話が3つの場面から構成されていることに気づかせる。次に、全文を通読し好きなところを選び「おとうとねずみ チロ」のおはなしカードを書かせる。登場人物の会話や行動を手がかりに、好きなところにサイドラインを引いたり、ペアで話し合ったり、全体で話し合ったりしながら、お話の好きなところを選び、選んだわけを考える活動を繰り返し行う。繰り返していく中で、登場人物の会話や行動に着目し登場人物の気持ちを想像したり、自分と比べてたりして読むと、好きなところを見つけたりそのわけを考えたりすることができることに気づかせたい。また、同じ好きなところでも、一人一人の感じ方が違うこともあることに気づかせたい。単位時間の後半には、並行読書をしているお話についてふれる時間を設け、3次への活用を意識させる。

第3次では、2次で学んできたことの活用と位置づけ、並行読書をしてきたお話の中から、好きな本を再度読ませ、好きなところを選ばせ「おはなしカード」を書かせる。その後友達同士で紹介させる。紹介されたら、感想を返させる。そして、自分と友達の感じ方や考え方には、似ているところも違うところもあることに気づかせたい。その後、児童が書きためた「おはなしカード」をまとめて冊子にする。このことにより、本単元での読書活動に成就感を持たせ、さらなる読書活動への意欲を持たせたい。

4 単元の指導目標

- 動物が登場するお話に興味を持ち、楽しんで読もうとしている。 (関心・意欲・態度)
- ◎本を楽しんで読み、好きな本や文章を選ぶことができる。 (読むこと)
- 好きな場面を見つけて、登場人物の会話や行動に着目して想像を広げて読むことができる。 (読むこと)
- 感想を表すには様々な言葉があることを知り、その言葉を使って感想を書いている。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○好きな本や、文章を見つけて、楽しんで本を読もうとしている。	◎好きなお話を読んだ上で、紹介したい本や文章を選んでいる。(カ) ○好きな場面の様子について、登場人物の行動や会話に着目して想像を広げて読んでいる。(ウ)	○気持ちを表す言葉を使って、感想を書いている。(イ (ウ))

6 本単元の読みの視点

- (1) 挿絵と照らし合わせながら、お話の大体をとらえること。
- (2) 登場人物の会話や行動から、登場人物の気持ちを想像すること。
- (3) 好きな文や文章を選ぶこと。

7 単元の指導計画 (全10時間扱い)

次	時	主な学習活動	並行読書	指導上の留意点 (・) と評価 (◇)
1	1	○お話を聞き、学習のめあてを確かめる。		<ul style="list-style-type: none"> ・今まで読んだ本の中から、好きなお話を発表させ、読書経験を想起させる。 ・読み聞かせをし、感想を話し合わせ、どんなお話でも、心に残れば好きなお話になることを知らせる。また、気持ちを表す言葉を集めたり使ったりしていくことも知らせる。 ・学習のめあてを確認する。 ・動物が登場するお話を紹介するとともに、並行読書のブックリストを配布し、記入する項目を指導する。 ◇動物が登場するお話に興味を持ち、読もうとしている。 (観察)
	2	○言語活動の要件を確認し、単元の学習計画を立てる。		<ul style="list-style-type: none"> ・「おはなしカード」のモデルを掲示し、言語活動の要件を確認する。 ・学習の見通しをもたせる。 ◇「おはなしカード」の書き方が分かり、学習の見通しを持つことができている。(観察・発言)

	3	○「おとうとねずみ チロ」を読み初発の 感想を交流する。		<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせをし、はじめの感想を発表させる。 ・新出漢字や語句の指導をする。 ・音読をさせる。 ◇「おとうとねずみ チロ」を読み、次時からの学習への意欲を持つことができる。(シート・観察)
2	4	○挿絵と照らし合わせ ながらお話の大体を とらえる。		<ul style="list-style-type: none"> ・「おとうとねずみ チロ」の題名と作者を確認する。 ・挿絵を手がかりに、誰がどうしたお話かをとらえさせ、シートに書かせる。 視点(1) ・並行読書している本から、好きな本の題名、登場人物を発表させる。 ◇お話の大体をとらえている。(発言・ワークシート)
	5 ・ 6 本 時 ・ 7	○全文を通読し、お話 の中から、好きなと ころを見つけ、その 理由を考える。		<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動に着目させ、好きなところを見つけさせる。 ・好きなところと好きな理由を、「おはなしカード」に書かせ全体やペアやグループで交流させる。 視点(2)(3) ・並行読書で読んできた中から本を選び、好きなところを気持ちを表す言葉を使って紹介させる。 ◇登場人物の行動に着目して読み、好きなところを選んでいく。(発表・ワークシート)
3	8 ・ 9	○「おとうとねずみ チロ」で学習してき たことをもとに、並 行読書をしてきた本 の「おはなしカード」 を作る。		<ul style="list-style-type: none"> ・並行読書をしてきた中から好きなお話を選ばせる。 ・選んだお話を再度読ませ、好きなところを選ばせる。 ・「おはなしカード」を書かせる。 視点(1)(2)(3) ・ペアやグループや全体で、「おはなしカード」を紹介させ、お互いの感じ方の違いに気づかせる。 ◇好きな本や文章を選んで読み、「おはなしカード」に書いている。(ワークシート)
	10	○本単元の学習を振り 返る		<ul style="list-style-type: none"> ・これまで書いてきた「おはなしカード」をまとめて冊子にし、本単元の学習を振り返らせる。 ・多くの本を読んだこと、好きなところを選び紹介することができたことを確認する。 ◇いろいろなお話を選んで読もうとしている。(発言・ワークシート)

【本単元がつながる学び】

目 標 おもしろさを見つけながら、いろいろな昔話を読み広げる。

指導事項 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。

言語活動 読書郵便でしようかいしよう

学習材 「かさこじぞう」 東京書籍 2年下



8 本時の指導

(1) 目標

登場人物の会話や行動から好きなところを選び、好きな理由を「おはなしカード」に書くことができる。

(2) 指導過程

時間	主な学習活動	主な発問 (○) と指示 (△)	指導上の留意点 (・) と評価 (◇)
つかむ 5分	1 前時までの学習を想起し本時の課題を確認する。 おはなしの すきなところを見つけよう。		<ul style="list-style-type: none"> 学習計画に沿って、本時の学習課題を確認する。 本時の学習の流れを確認する。 本時の視点を確認する。
ふかめる 25分	2 好きなところを選び、そのわけを考える。 ・サイドラインを引く ・ペアで交流する 3 好きなところとそのわけを「おはなしカード」に書く。	<p>○このお話の好きなところを、見つけましょう。また、わけも考えましょう。</p> <p>△好きなところとそのわけを、「おはなしカード」に書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物のしたことを中心に全文を通読させながら、好きなところを見つけさせる。 選んだところにサイドラインを引かせ、気持ちを表す言葉を書いた付箋を貼らせる。 ペアで交流させることにより、おはなしカードに書く活動につなげる。 ペアで交流する際には、付箋をもとに「私は、～のところが○○でした。わけは、～からです。」と言うようにさせる。 <p><評価規準></p> <p>◇ お話の中の好きなところとその理由を考えている。 (発言・おはなしカード) 支 言語活動のモデルの文の書き方をまねさせ、再びで好きなところや理由を話させる。</p>
まひとめ める 15分	4 全体で交流し、まとめる。 ・発表する ・感想を交流する	<p>△「おはなしカード」に書いたことを発表しましょう。</p> <p>○友達の発表に感想を言いましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 発表させながら、児童が書いた好きなわけは、登場人物の気持ちを考えたのか、自分と比べたのかを示す。 お話の好きなところを見つけることができたことを確認する。 登場人物と自分を比べたり登場人物の気持ちを考えたりすると、好きなわけを考えることができることにふれる。

	<p>5 並行読書をしてきた本から、好きなのところを選び、紹介する。</p> <p>6 学習を振り返る。</p>	<p>○読んできたお話の中で、好きなのところはどこですか。</p> <p>△今日の学習を振り返りましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本の題名・登場人物・好きなのところを発表させる。 ・本時の学習で分かったことやできたことなどを振り返らせる。 ・次時も好きなのところを見つけ、そのわけを考える時間であることを確認する。
--	--	---	---

(3) 板書計画

挿絵	挿絵	挿絵	かわいやこうどう	かいだい おはなしの すきなところを 見つけよう。 おとうとねずみ チロ おはなしをよみ すきなところを「おはなしカード」 にかいてしようかいしよう。
カード	カード	カード	きもちをかんがえる	
くらべて	あんしんした よかった	すごい	かわいそう	
	きもち			
		くらべて		